

日本ミシェル・アンリ哲学会

第十二回研究大会 プログラム

日本ミシェル・アンリ哲学会の第十二回研究大会はオンラインでの開催となります。シンポジウムのテーマは昨年度に引き続き『精神分析の系譜』（1985年）の再検討です。『精神分析の系譜』という著作は、アンリが内在の現象学の観点からデカルト以降の近現代哲学史を大胆に裁断しようとした試みですが、その最終章はフロイトの精神分析への批判に当てられています。フロイト、そして『精神分析の系譜』では言及されていないものの、同時期の諸論考や対談によればひそかに念頭に置かれているラカン、今回のシンポジウムではこれら両者の精神分析とアンリの現象学がどのように交わるのかについて改めて検討するために、ロゴザンスキーのもとで学びアンリと精神分析に造詣の深い本間義啓氏、そして気鋭のラカン研究者である上尾真道氏に御登壇いただくことになりました。またシンポジウムに先立ち、アンリとラリュエルの関係をめぐる研究発表と、アンリの文学作品『王の息子』をめぐりアトリエが行なわれます。

なお、今回、会員には、事前に、メーリングリストを通してZoomのアクセス先をご案内いたします。また、会員外の方は、お問い合わせいただければ、Zoomのアクセス先をご案内いたしますので、大会に参加希望の方は、下記の事務局までお問い合わせ下さい。

期日：2020年12月20日（日）
オンライン開催（Zoom使用）

【研究発表】

10:00～10:50

米虫正巳（関西学院大学）

「生の現象学と非-哲学——アンリとラリュエルの
交差と分岐」

【アトリエ】

11:00～11:50

村松正隆（北海道大学）

「アンリ・象徴・精神医療——『王の息子』を読む」

12:00～12:30 総会

12:30～13:30 昼食

【シンポジウム】

13:30～16:30

テーマ：「『精神分析の系譜』再読（2）」

パネラー

上尾真道（京都大学）

「胎児のコギト——アンリとラカンの情動論的交
点をめぐって」

本間義啓（釧路公立大学）

「非脱自的時間と無意識——アンリにおける精神
分析批判の射程」

特定質問者・司会

村瀬鋼（成城大学）

日本ミシェル・アンリ哲学会事務局

〒662-8505 西宮市岡田山4-1 神戸女学院大学文学部 川瀬研究室内

Tel/Fax : 0798-51-8677 E-mail : kawase@mail.kobe-c.ac.jp

ホームページ : <http://www7b.biglobe.ne.jp/~michelhenry/>